東　京　の　ヤ　ス　デ

燈臺下暗しのたとえに洩れず東京都内の多足類は何と何とで何種類になるのかまだ判つていない。本誌第11卷第3•4號に高島•篠原兩氏の書かれた「國立自然敎育園内の多足類」に出ているヤスデは5種しかないが，私の今日までの採集に基いて東京のヤスデを少し補足すると次のようになる。
1)フサヤスデは東京に3亞種共いる。　2)タマヤスデを自然敎育園内で採集した。ミクニタマヤスデ Hyleoglomeris insularum Verhoeff と考える。　3) イカホアカヤスデ Nedyopus tambanus ikaonus (Attems) とヤマトアカヤスデ N. patrioticus が確かにいる。後者の亞種名は未決定である。 4)フジヤスデの1種 (Fusiulus sp.) がいるが種名未決定。5)以上の他に屬種名をまだはつきりさせ得ないヤスデが少くとも12,3種ある。だから東京のヤスデには少くも16,7種類はあることがわかる。(芳賀昭治)

ク　モ　ノ　ー　ト

◇キュケンタール•クルンバッハの Handbuch der Zoologie の眞正蜘蛛目の部分を覽ると最小のクモというのはどれも Simon の設定した屬 Orchestina, Ninatis, Cepheia 等で體長1粍に及ばないとある。微小のダニを想像すればよいのだろう。最大の鳥トリグモは Teraphosa 屬のもので體長8〜9糎 (800から900粍と誤植されているから御用心！）である(體長であつて步脚を展げての長さではない)。 よく知られてるトリトリグモ Avicularia avicularia は最大のクモではない。戰後の日本で最大のクモはアシダカグモである。
◇時代映畫などで家の緣の下がクモの巢だらけになつているのに岡っ引などが忍び込んで樣子を探る所がある。その「クモの巢」はまず大抵眞綿を使いそのまゝ引伸して建物に絡ませるのだという。又丸網は板の上に打ちつけた釘型に細絲を引廻して造るとある。

談　話　會　記　事

久しぶりに採集會をやろうということになり日取りも場所もやつときまつて7月30日(日)午前10時に東京都港區芝白金台町國立自然敎育園正門前に集合，同園內で正午頃まで岸田評議員の指導でクモの野外觀察（この園內では採集會を催すことは許されないから)，終つてから電車に乘つて本會事務所に移り談話會ということになつていた所，兩三日來の豪雨はこの朝になつても止まず野外觀察會は中止，午後もいつ雨到るとも判らぬ天氣具合にすつかり皆さんの出足を挫いてしまつたと見え雨天の際は午後1時から事務所で談話會のみというお知らせも岸田久吉，高島春雄，關口晃一，芳賀昭治氏がやつて來られただけ。他